

A・B・C・D・E・F

優良要件適合申告書 (実習実施者)

技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則第15条に定める基準を満たすことについて下記のとおり申告します。

記

項目	点数	内容
1 技能等の修得等に係る実績	I	<p>※</p> <p>① 分母 計 _____ 名 (A+B)</p> <p>A 現行制度 第1号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>B 旧制度 第1号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>※やむを得ない不受検者がある場合には、A及びBそれぞれについて、やむを得ない不受検者名簿(別紙3)を添付すること。</p>
		<p>② 分子 計 _____ 名 (A+B)</p> <p>A 現行制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p> <p>B 旧制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿(別紙2)を添付すること)</p>
		<p>③ 基礎級程度の学科試験及び実技試験の合格率</p> <p>② _____ 名 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ %</p> <p>※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p>
点		
II	点	<p>※</p> <p>① 分母 計 _____ 名 (A+B)</p> <p>A 第2号修了者 計 _____ 名 (a+b)</p> <p>a 現行制度 第2号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>b 旧制度 第2号受検者 _____ 名</p> <p>※旧制度について、平成29年7月1日前の受検者はその全てを含めないことが可能であるが、同日以後の受検者は必ず含めること。</p> <p>B 第3号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名</p> <p>※やむを得ない不受検者がある場合には、A及びBそれぞれについて、やむを得ない不受検者名簿(別紙3)を添付すること。</p>

		<p>② 分子 計 _____ 名 (A+B)</p> <p>A 3級程度 _____ 名 (a+b)</p> <p>a 現行制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること)</p> <p>b 旧制度 計 _____ 名 (受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること)</p> <p>B 2級程度 _____ 名 (受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること)</p>
		<p>③ 2級又は3級程度の実技試験の合格率</p> <p>(②A+②B×1.5= _____ 名) ×1.2 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ %</p> <p>※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p>
II 2 (1)	※ 点	<p>3級程度の実技試験の合格者 計 _____ 名</p> <p>※受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること。</p>
II 2 (2)	点	<p>2級程度の実技試験の合格者 計 _____ 名</p> <p>※受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること。</p>
III	点	<p>2級又は3級程度の学科試験の合格者 計 _____ 名</p> <p>※受検技能実習生名簿 (別紙2) を添付すること。</p>
IV	点	<p>技能検定等の実施への協力の実績 (有 ・ 無)</p> <p>a 試験の職種名 _____</p> <p>b 試験実施機関名 _____</p> <p>c 協力の概要 _____</p>
2 技能 実習 を行 わせる 体制	I	<p>技能実習指導員全員の講習受講 (有 ・ 無)</p> <p>在籍者 _____ 名 うち、講習受講者 _____ 名</p> <p>※講習受講者がいる場合には、講習受講者名簿 (別紙1) を添付すること。</p>
	II	<p>生活指導員全員の講習受講 (有 ・ 無)</p> <p>在籍者 _____ 名 うち、講習受講者 _____ 名</p> <p>※講習受講者がいる場合には、講習受講者名簿 (別紙1) を添付すること。</p>
3 技能 実習 生の 待遇	I	<p>第1号技能実習生の時間当たりの賃金 _____ 円 ÷ 最低賃金 _____ 円 × 100 = _____ %</p> <p>a 対象とした技能実習生の氏名 (_____)</p> <p>b 最低賃金の種類 (地域別最低賃金 ・ 特定最低賃金)</p> <p>※第1号技能実習生の時間当たりの賃金は、本技能実習事業年度に受け入れている者のうち、賃金の額が最も低いものを記載すること。</p> <p>※最低賃金額は、本技能実習事業年度年頭 (4月1日) の金額を記載すること。</p>

	II	点	昇給率 ① 第2号技能実習への移行時 _____ % ② 第3号技能実習への移行時 _____ % ※直近の実施状況報告に記載した割合と同様の記載となることに留意すること。
4 法令違反・問題の発生状況	I	※	① 改善命令（ 無 ・ 有 ） ※有の場合（ 年月日 年 月 日 / 改善実施 ・ 改善未実施 ） ② 旧制度の「改善命令相当の行政指導」（ 無 ・ 有 ） ※有の場合（ 年月日 年 月 日 / 改善実施 ・ 改善未実施 ）
	II	※ 点	失踪者 _____ 名 / 受入れ _____ 名 ×100 = _____ % ※受入れ数は、過去3年以内において新たに受入れを開始した技能実習生の総数。
	III	※ 点	責めによるべき失踪（ 無 ・ 有 ）
5 相談・支援体制	I	点	マニュアル等の策定及び関係職員への周知（ 有 ・ 無 ）
	II	点	受入れ中の全ての技能実習生が母国語で相談できる相談員の確保（ 有 ・ 無 ）
	III	点	実習先変更による技能実習生の受入れ（ 無 ・ 有 ） ※有の場合 技能実習生の氏名（ _____ ） 国籍（ _____ ） 性別（ 男・女 ） 生年月日（ _____ 年 _____ 月 _____ 日） 受入れ年月日（ _____ 年 _____ 月 _____ 日） 実習先変更時の技能実習計画認定番号（ _____ ）
6 地域社会との共生	I	点	日本語学習の支援の概要

II	点	地域社会との交流を行う機会の概要
III	点	日本の文化を学ぶ機会の概要

(注意)

- 1 点数欄に※印が付された項目については、申告の有無にかかわらず、内容欄を記載すること。
- 2 点数欄は、申告の有無にかかわらず記載し、申告しない項目には、点数表を参照して「0点」、「-5点」等と記載すること。
- 3 「1技能等の修得等に係る実績」の項目については、施行後3年間は、「II」の欄の記載か「II 2(1)とII 2(2)」の欄の記載のいずれかを選択すること。
- 4 「2技能実習を行わせる体制」の項目については、講習の整備から1年間は記載しないこと。

合計点
点

以上の記載内容は事実と相違ありません。

年 月 日作成

申請者の氏名又は名称

作成責任者 役職・氏名



講習受講者名簿

番号	氏名	性別	生年月日	役職	講習名	受講日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日
		男・女	年 月 日	1 技能実習指導員 2 生活指導員		年 月 日

(注意)

- 1 役職欄には、技能実習指導員、生活指導員のいずれかの番号に丸印を付けること。
- 2 講習の受講証明書の写しを添付すること。

受 検 技 能 実 習 生 名 簿

(技能検定等 級 / 現行制度受検者・旧制度受検者)

番号	氏名	性別	国籍(国又は地域)	生年月日	試験名(職種・作業を含む)	合格日	合否区分
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格
		男・女		年 月 日		年 月 日	合格(全部・学科・実技)・不合格

(注意)

- 1 本名簿は、受検級ごとに、それぞれ現行制度と旧制度の受検者に分けて作成すること。
- 2 合否区分には、いずれか一つに丸印を付すこと。
- 3 技能検定等の合格時に実習実施者が受け入れていた技能実習生のみが記載対象となることに留意すること。

やむを得ない不受検者名簿

(第 号修了者 / 現行制度受検者・旧制度受検者)

番号	氏名	性別	国籍 (国又は地域)	生年月日	技能実習実施困難時届出日 (企業単独型のみ)	技能実習実施困難時通知日 (団体監理型のみ)	技能実習計画認定番号
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
		男・女		年 月 日	年 月 日	年 月 日	

(注意)

- 1 本名簿は、技能実習の段階ごとに現行制度と旧制度に分けてそれぞれ作成すること。
- 2 本名簿に記載できる技能実習生は、病気や怪我、実習意欲の喪失やホームシック、行方不明、本国の家族の都合、監理団体許可の取消し、監理団体の事業上の理由などの実習実施者の責めによらない理由により、技能実習を行うことが困難となり、不受検となった者である。